

平成三十年二月八日提出
質問第六五号

陸上自衛隊目達原駐屯地所属ヘリコプターの墜落事故に関する質問主意書

提出者
城井崇

陸上自衛隊目達原駐屯地所属ヘリコプターの墜落事故に関する質問主意書

平成三十年二月五日に発生した陸上自衛隊目達原駐屯地所属の第三対戦車ヘリコプター隊AH-64Dが整備・点検後の試験飛行中に目達原駐屯地の南西約六キロメートルの位置に墜落した事故に関し、以下質問する。

- 一 整備時に交換したばかりであったヘリコプターのブレードをつないでいた部品、メインローターヘッドの調達先は米国の部品メーカーか。具体的なメーカー名を含めて政府の把握状況を示されたい。
- 二 事故の調査に関し、自衛隊内部のみで構成される航空事故調査委員会が当たるとするのは事実か。今回の事故調査の具体的な体制について明らかにされたい。
- 三 事故の捜査に関し、「現場では陸自の警務隊が主導し、県警の協力を得ながら捜査を進める形になって」と承知している」という発言を大野防衛大臣政務官が行ったというのは事実か。陸上自衛隊主導の捜査ではその公正性に対し国民側の疑念が残ると考えるが、今回の事故の捜査の具体的な体制と主導者について明らかにされたい。

四 今回の事故に関し、自衛隊内部で構成される航空事故調査委員会による調査では国民から見て公正性に

欠けると考える。第三者による事故調査及び国民への情報公開を行うべきと考えるが、政府の見解を示さ
れたい。

五 今回の事故が機体や部品に起因することがはっきりした時点で調達先に対し、責任の明確化、賠償の請
求を行うべきと考えるが、政府の見解を示されたい。

右質問する。